



にじいろレター



No. 14

今回は、緩和ケア分野と皮膚・排泄ケア分野の認定看護師からのお知らせです。

緩和ケア 担当：緩和ケア認定看護師 福留 麻希 (PHS:4385)

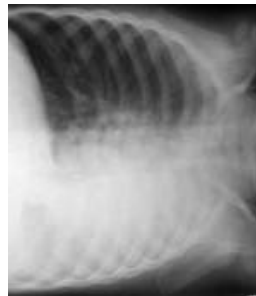


1. 呼吸困難に対するケア～肺胞換気血流比から考える～

肺癌の患者さん。左の上葉入口部が腫瘍によって圧迫され無気肺になり、SPO2 が低下して呼吸困難を訴えています。肺胞換気血流量比（肺循環血流量に対する肺胞換気量の割合）から考えてみましょう。患者さんが安楽な体位はどのような体位でしょうか？

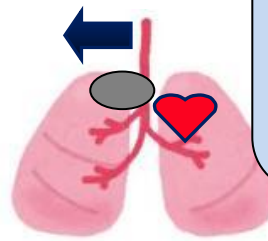


<左側臥位が良い？>



<右側臥位が良い？>

【正解は…】



*左の無気肺で左側臥位をとると、左肺の血流は増加するが、取り込める空気量が少ないため、肺胞の換気血流比が不均等となり、十分なガス交換ができず、SPO2 が低下する

「右側臥位」が有効

2. 新しいオピオイドの紹介

患者さんの状態に合わせた薬剤が選択できるようになりました。詳細は、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケアチームにお問い合わせ下さい。



1) オキシコドン注射剤：オキファスト

経口で内服が困難な場合や腎機能低下を認める場合などに使用します。

2) フェンタニル速報剤（レスキュードーズ）：イーフェンバッカル錠



❖ 口腔粘膜吸収剤で上顎臼歯の歯茎と頬の間で溶解させて使用します。経口で内服が困難な場合や腸閉塞を認める場合などに使用します。

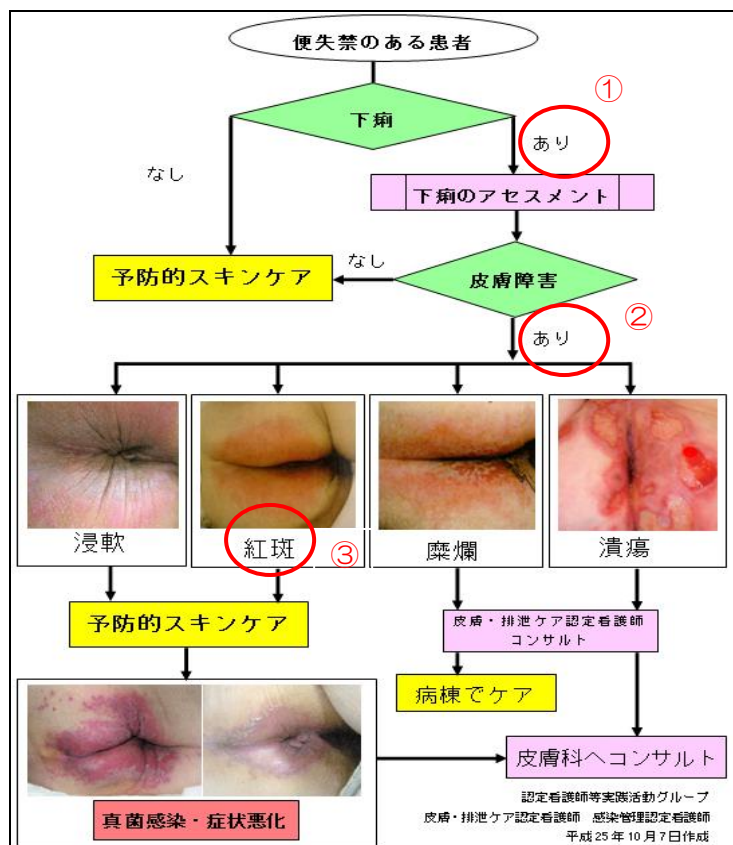
「緩和ケアマニュアル」の活用を！

昨年度、各看護単位に1冊ずつ（緑色のファイル）配布しています。CUMNAVI トップ画面「緩和ケアチーム」フォルダー内にもアップしていますので、是非、治療やケアにご活用ください。今回取り上げた呼吸困難に関する項目はP23～26 にあります。日々のがん患者・家族のケアや医療者のサポートなどで困っている事などありましたら、緩和ケアチームへお気軽にご相談ください。



「便失禁による皮膚障害ケア アルゴリズム」

を感染管理認定看護師と作成しました！



《事例》
偽膜性腸炎で下痢が頻回、時折便失禁がある患者。お尻は赤く、痛みを伴っている

患者の症状を見たときに、キーワード（アンダーライン）をアルゴリズムに当てはめて考えると・・・

①下痢あり。下痢のアセスメントを行う。事例は、偽膜性腸炎で止痢剤などの使用は難しい

②お尻は赤く痛みがあるので皮膚障害あり

③実際のお尻とどれが近いかを見比べて選択する。今回は、紅斑と判断した

予防的スキンケア

今回は、このようなケアを行い、皮膚障害は悪化せず改善した

①1日1回、よく泡立てた石鹸で、陰部・臀部の洗浄をする

②プロペトにバリケアパウダーを混ぜて、臀部に塗布する



便失禁による皮膚障害の対策は、まず予防的スキンケアを行うことです。オムツを使用するとそれだけで臀部は湿潤し、それが続くとバリア機能が低下し、皮膚損傷を起こしやすくなります。

<予防的スキンケアの基本>

①皮膚を清潔にする

②排泄物が直接つかないように皮膚を保護する

「便失禁による皮膚障害ケア アルゴリズム」を活用し、皮膚障害を予防しましょう。糜爛や潰瘍などが発生した場合は、皮膚・排泄ケア認定看護師へ看護コンサルテーションをお願いします。